



徹底した教育とマニュアル整備 WebFOCUSによりユーザ自身で 実績データを積極的にフル活用

青森県農業協同組合中央会では、青森県内8つのJAおよび子会社に対して提供するシステムサービスの一環として、「WebFOCUS」を中心とした新たな事業実績システムの運用を開始しました。従来のシステム運用時から育まれたエンドユーザ自身の手によるデータ活用の下地を十分に活かし、幅広いデータ活用を展開しています。



青森県農業協同組合中央会

青森県内のJAの総合指導機関として、経営指導や財務諸表等の監査、役職員の教育など、JAを支援する様々な事業に取り組む公益的な法人。地域農業の振興、農業政策の強化、対外広報活動にも取り組んでいます。

本社：青森県青森市東大野二丁目1番地15
設立：1954年12月1日
URL：http://www.ja-aomori.or.jp/chuoukai/
(取材日：2014年11月)

POINT

1 エンドユーザに対する徹底した教育とマニュアルの整備によるセルフサービス型のデータ活用を推進

2 クライアントベースからWebベースのシステム構成に一新し、登録ユーザ数は従来の3倍に拡大

3 パフォーマンスの問題把握が容易になり、ストレスフリーな環境が整備され、業務効率が大幅に向上

課題

対策

効果

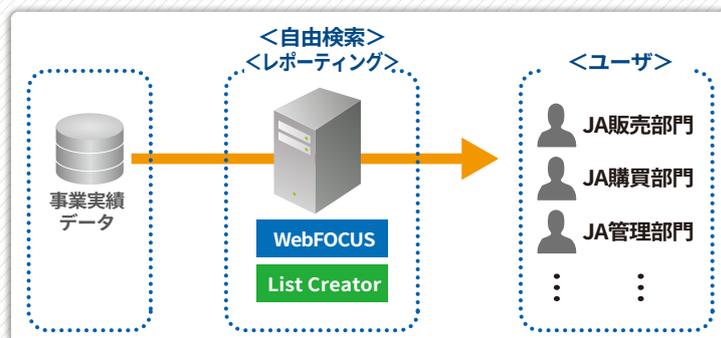
- BIツールの老朽化に伴い、新たな情報活用の仕組みが必要だった
- 以前はクライアントベースのツールを利用していたため、性能やライセンス面で制約があった
- 定型的なレポートに加え、ユーザ自身の手による自由なデータ活用も発展させたかった

- WebFOCUSを中心に、既存のDB環境をそのまま活かしたシステムを新たに構築
- Webベースのシステムを採用することで、性能やライセンス面の制約を解消
- エンドユーザに充実したマニュアルを整備し、綿密なトレーニングを実施

- レポート資源の一元管理が可能になり、重複するレポートを大幅に圧縮
- 操作性の向上により、積極的なデータ活用をさらに推進
- 従来は不可能だったパフォーマンスの課題把握が容易になり、性能向上を実現

データソース：事業実績データ
利用業務：事業実績システム

協力パートナー：



エンドユーザ向け研修テキスト

WebFOCUS

BIツールの老朽化に伴い、 事業実績情報を活用する環境の 再整備が必要に

青森県では、気候風土を生かした農作物を全国に出荷しています。生産量日本一でよく知られているリンゴをはじめ、ニンニクやゴボウの収穫量も全国トップを誇り、ナガイモ、ニンジン、ダイコン、カブなどの根菜類でも全国上位に位置しています。その青森県で、県内各地にある農協（JA）やJA子会社を指導するのが青森県農業協同組合中央会（以下、JA青森中央会）です。中央会は、JAやJA連合会を会員とし、JAの経営指導や監査、教育および情報提供などを行うJAの指導法人です。JA青森中央会では、県内8つのJAおよび子会社に対する指導やオンラインシステム「ATLAS」の提供を行っています。

ATLASは、経理や固定資産管理、販売、購買といった様々な機能を提供し、株式会社青森共同計算センター（以下、JAC）が構築／運用を担っています。システムは時代の変化に応じて随時更新されており、2015年7月からは第4次システムが新たに稼働する予定です。

今回のATLAS更新に先駆け、Windows XPのサポート終了に伴い、各JA職員の事務用端末が更新され、Windows 7へと移行しています。この際、JA青森中央会が提供するシステムの1つである「事業実績システム」で利用されていたBIツールがWindows 7に未対応のため、そのツールのバージョンアップを行うか、または別の製品に移行するかを検討する必要に迫られました。

操作性の高いデータ活用の仕組みを Webベースで実現可能な WebFOCUSを採用

事業実績システムは、各JAの職員が購買や販売などの様々な実績数値などを集計／レポートリングし、業務に活用するためのシステムです。従来は、クライアントベースのBIツール上で稼働していましたが、OSのサポート終了を見据え、「WebFOCUS」を中心としたWebベースのシステムの検討に至りました。経営対策部 副審議役の小館一浩氏は次のように振り返ります。

小館氏 移行後も今まで可能であったことが同じようにできること、既存のデータベース資源を引き継ぐこと、この2点を重視して検討しました。他県の事例を視察するなどしましたが、アシストは

実データを用いたカスタマイズデモを実施してくれたので、今までと大きく変わらない使い勝手を実現できることを実感できました。

機能面の評価に加え、WebFOCUSがWebベースの製品であることも重要な評価ポイントとなりました。処理をサーバ側で行うため端末の性能に制約されることなく、また、サーバ・ライセンスのためユーザ数にも制限がありません。その一方で、従来のBIツールをバージョンアップするには膨大な工数が必要になることも判明し、JA青森中央会ではWebFOCUSの採用を決断しました。

新たな事業実績システムでは、以前からのデータを引き継ぎつつ、Webベースでの定型レポート、自由検索、帳票出力に「WebFOCUS」と「List Creator」を組み合わせたシステム構成を採用し、2013年4月に構築が開始されました。

開発と並行してマニュアル／教育を 徹底的に整備、稼働直後から 順調な活用を実現

新たな事業実績システムは、2014年10月にカットオーバー。必須要件である従来のシステムと同様の使い勝手を実現するため、約半年かけて徹底的なマニュアルの整備、エンドユーザである各JA職員への綿密なトレーニング、定型レポートの開発を実施しました。

従来はエンドユーザが積極的に自分でレポートを作成／活用していった結果、約2,000種類ものレポートがシステムに登録されていました。しかし、各自が登録したため重複する内容も多く、JA青森中央会とJACが中心となって整理／集約し、優先順位の高い定型的なレポートに絞ってWebFOCUSで作成した結果、約80種類まで削減することができました。一方、定型レポート以外では、各JA職員が自由検索を活用し、Officeツールによる二次加工と合わせた積極的な情報活用がなされています。これは、ユーザがWebFOCUSを利用して様々なシーンで情報活用するための用途別／機能別のマニュアルや、リファレンスとしての公開DBテーブル一覧表の整備、各JA拠点に職員を集めたJAC主体の研修といった手厚いユーザ・サポートによるものです。



小館一浩氏

従来のシステム利用時からエンドユーザのデータ活用スキルが充実しているという下地もあり、新システムのユーザ数は3倍に拡大していますが、カットオーバー当初から順調に利用されています。JAC アグリビジネス部 営業推進課長の松本貴行氏は「旧システムは場合によって結果の取得まで数時間を要することもありましたが、今はパフォーマンスに大きな問題はありませぬ。処理がサーバ側になったメリットの1つです」と評価します。

エンドユーザの自律的なデータ 活用を積極的に推進し利便性の 向上を図る

大量データを扱う業務の都合上、カットオーバー直後より継続してシステムをチューニングしています。WebFOCUSの処理については、Resource Analyzerで異常値を毎日チェックし、問題箇所があれば徹底的に分析して対処しています。これは新システムへの移行により可能になった大きなメリットの1つで、JAC アグリビジネス部 販売情報課長の上田昌弘氏は、「処理ごとの所要時間にしきい値を設け、それを超えたものは対処する、という形でチューニングしています。しきい値は、適宜見直しをしていますが、現在ではカットオーバー直後の1/30の時間設定と、高いパフォーマンスを維持しています」と言います。

旧システムでは、JA青森中央会側が用意したレポートと各ユーザが作ったレポートが混在していましたが、現在は、定型レポートの作成については中央会側が担当し、各ユーザは定型処理に加えて、自由なデータ検索／加工を中心に積極的なデータ活用を行なっています。JA青森中央会およびJACでは今後、新たなレポートの開発や、人事異動に合わせた研修を随時行っていく方針です。現場の業務効率を重視して、これまで以上にユーザ自身の手によるデータ活用が行われることも期待しています。

小館氏 DBの中から必要な情報を抜き出して使いこなすためのシステムやマニュアルは、我々が整備します。しかし、そこから先はむしろユーザ自身で行った方が利便性や時間の面で圧倒的に有利です。ユーザによる自律的なデータ活用の風土が根付いていますので、今後も更に活性化していきたいですね。

お問い合わせは **株式会社アシスト**

URL <http://www.ashisuto.co.jp/product/category/bi/webfocus/> E-Mail ibi@ashisuto.co.jp

東京 〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル	TEL:03-5276-3653	大阪 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 13F	TEL:06-6373-7113
札幌 〒060-0003 札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル 13F	TEL:011-281-1161	広島 〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル 3F	TEL:050-3816-0974
仙台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア 19F	TEL:050-3816-0970	福岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勤筑紫通ビル 9F	TEL:092-481-7156
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ 4F	TEL:052-232-8211	沖縄 〒900-0014 那覇市松尾1-10-24 ホークシティ那覇ビル4F	TEL:050-3816-0976
金沢 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢 8F	TEL:050-3816-0972		